

この海も
この青さも
私だけのもの

歩きたれたいつもの道で、ふと、旅先で見た光景が目の前によみがえる。

青という言葉よりずっと青い海、それを覆う広大な空。

これ、どこだったっけな、と考えながらも、

なんてきれいなんだろうと、心に浮かぶ光景に見入ってしまう。

そうさそうさ、あのときの旅の、あの場所だ。

思い出して、ほっとして、それから思う。

今日、海はどのくらい青いだろう。空はどのくらい高いだろう。

親しい人と思うように、あの場所を思っている。

旅することで、出会うことで、場所とも友だちになれるのだ。

作家
関田光太郎

ストーリーのあるまち

香美町

「錨漁港」



HYOGO

